

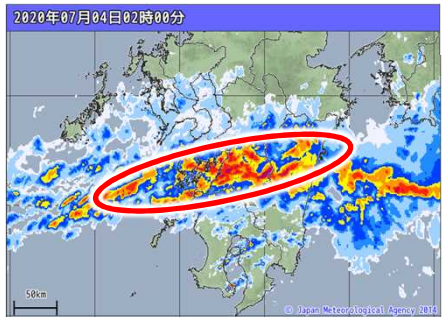
気象情報における記載の充実について

～線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ～

- 令和3年度より線状降水帯が発生した場合にその旨を伝える「顕著な大雨に関する気象情報」を開始。一方で、市町村の防災担当者に対して実施したアンケートなどによれば、線状降水帯の予測に対する社会的なニーズが高い。
- 線状降水帯の予測は現在の技術を持ってしても、常に確度の高い予測をするのは困難であるが、技術の革新により、線状降水帯を半日前から一定の確度を持って予測することが可能な場合があることがわかってきた。

顕著な大雨に関する情報の提供開始（令和3年6月～）

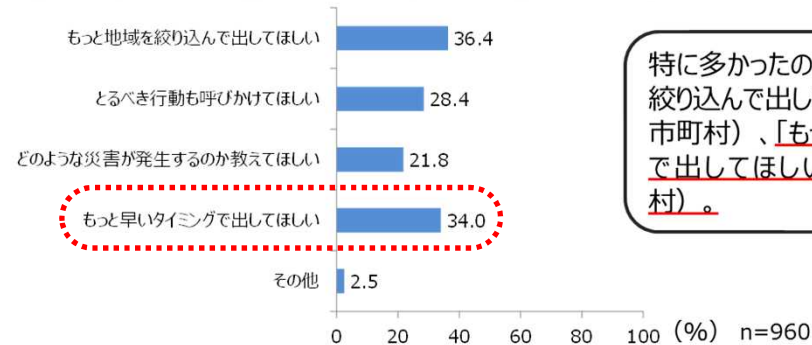
〇〇地方、〇〇地方では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続いています。命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。



○ 大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域

気象庁「自治体アンケート調査」

線状降水帯に関する情報への要望はありますか。（複数選択可）



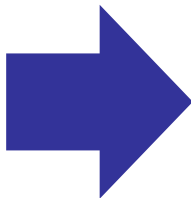
特に多かったのは「もっと地域を絞り込んで出してほしい」（349市町村）、「もっと早いタイミングで出してほしい」（326市町村）。

（参考）

「顕著な大雨に関する情報」が防災対応に役に立たなかった理由として、以下の御意見もいただいている。

- ・ 既に大雨特別警報が発表されていたため、警戒レベルを最大限に引き上げていたため。
- ・ 今まさに大雨が降っており、災害発生の可能性が高まっているタイミングでこの情報を出されても意味がない。

※ 自治体アンケート調査（実施期間：令和3年12月～令和4年1月（1月19日集計分） 調査対象：全国の市町村（計960市町村）、調査方法：Web）



令和4年度より、半日先の線状降水帯の発生の可能性が高く、国民の皆様呼び掛けた方が良くと判断できた場合に、「線状降水帯」のキーワードを用いた事前の呼びかけを開始する。

気象情報において線状降水帯の可能性に言及

- ▶ 令和4年度から「顕著な大雨に関する気象情報」の発表基準を満たすような線状降水帯による大雨の可能性が高い場合に、「気象情報」において、半日程度前から地方予報区単位等で呼び掛け、情報の充実を図る。 ※地方予報区：全国を11ブロックに分けた地域
- ▶ 警戒レベル相当情報を補足する解説情報として発表。

大雨に関する〇〇地方気象情報
〇年〇月〇日〇時〇分 気象庁発表

<見出し>

〇〇地方では、**線状降水帯が発生する可能性があり、大雨災害発生**の危険度が急激に高まるおそれがあります。

<本文>

… (中略) …

[量的予想]

<雨の予想>

〇日〇時から〇日〇時までに予想される24時間降雨量は、
いずれも多い所で、

〇〇県 〇ミリ

〇〇県 〇ミリ

〇〇県 〇ミリ

の見込みです。

線状降水帯が発生した場合は、局所的にさらに雨量が増えるおそれがあります。

… (中略) …

[補足事項]

今後発表する防災気象情報に留意してください。

次の「大雨に関する〇〇地方気象情報」は、〇日〇時頃に発表する予定です。

大雨が予想される際に発表される気象情報に、線状降水帯発生の可能性に言及するフレーズを挿入

予想雨量と併せて、線状降水帯が発生した場合にはさらに状況が悪くなる可能性があることを伝える

(参考) 南岸低気圧による関東の大雪への注意喚起

[防災事項]

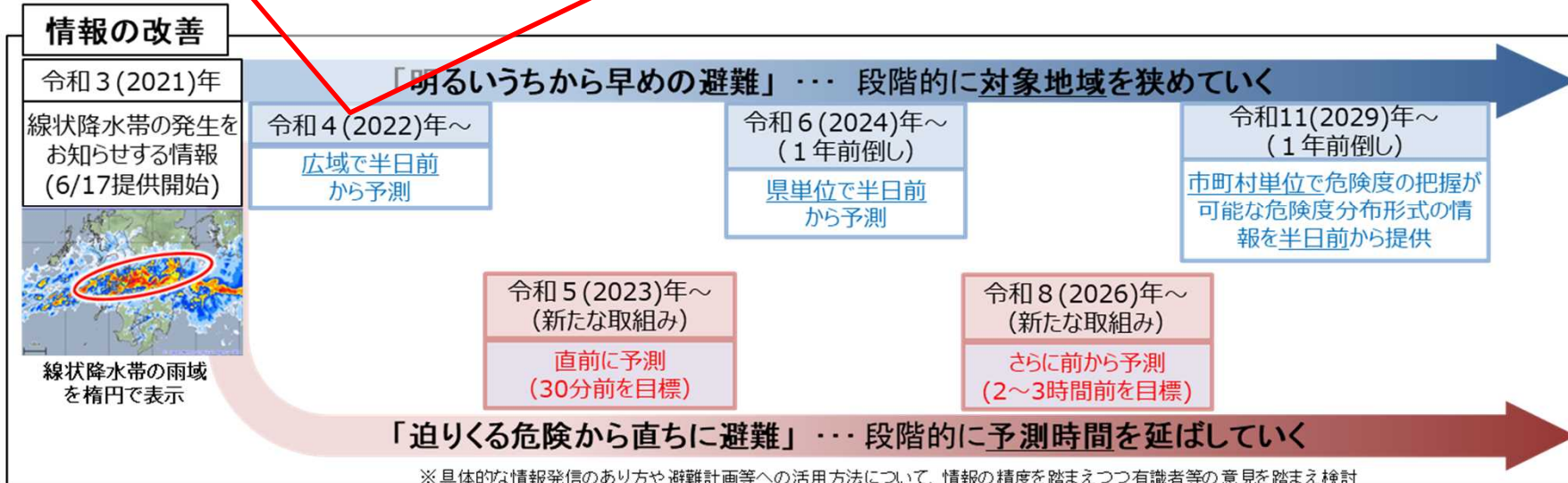
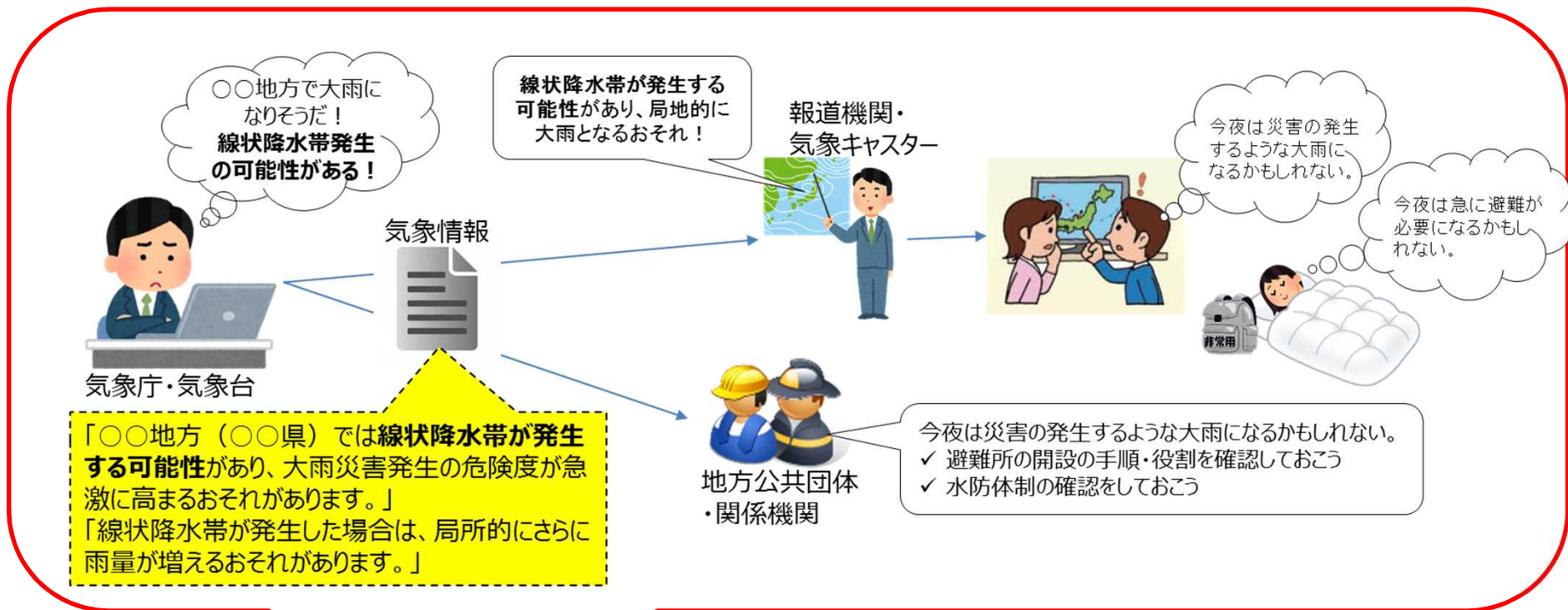
関東甲信地方では、10日から11日にかけて広い範囲で雪や雨が降り、大雪となる所がある見込みです。予想より気温が低くなった場合には、**警報級の大雪となるおそれがあります。**

大雪や路面凍結による交通障害に注意・警戒し、電線や樹木への着雪に注意してください。また、ビニールハウスやカーポートの倒壊にも注意してください。

- 予測の情報を提供していただける分には助かる。今後の情報の改善に期待したい。この情報を受けたからと言って対応は変わらないが、大雨対応に関わる体制の確認、防災担当部署以外も含めた職員への事前の告知には使えるだろう。
- 市町村の全庁的な防災体制構築等の前準備には使いたい。一般の方に対しても周知いただければ、避難情報が発表される可能性への心の準備ができ、早期行動につながるのではないかな。
- 令和2年の豪雨災害を受けて、早め早めの対応をするようにしている。この情報が発表された場合は、気象台と情報共有を密にしつつ、避難情報の早期発令を検討することになるだろう。一方で、現状早め早めの避難情報の発令がオオカミ少年になってしまっている場合もあり、対応に苦慮している。

参考

「線状降水帯」による大雨の可能性を半日前からお伝えします



過去事例における発表可能な事例

検討中の案

➤ 過去の予測資料に基づきシミュレーションした結果、令和3年出水期に「顕著な大雨に関する気象情報」を発表した9事例のうち、半日前に線状降水帯の発生の可能性を予測し、呼び掛けることが可能な事例は2事例。

事例	回数	情報発表日時	号数	府県予報区	一次細分区域
1	1	2021/6/29 2:49	1	沖縄本島地方	本島北部
2	2	2021/7/1 8:59	1	東京都	伊豆諸島北部
3	3	2021/7/7 5:09	1	島根県	東部
	4	2021/7/7 6:59	1	鳥取県	中・西部
4	5	2021/7/10 3:29	1	鹿児島県（奄美地方除く）	薩摩地方
	6	2021/7/10 7:39	2	鹿児島県（奄美地方除く）	薩摩地方
5	7	2021/8/9 10:39	1	島根県	隠岐
6	8	2021/8/12 13:59	1	福岡県	筑後地方
	9	2021/8/12 13:59	1	熊本県	熊本地方
7	10	2021/8/13 9:19	1	広島県	北部、南部
8	11	2021/8/14 2:21	1	佐賀県	南部
	12	2021/8/14 2:21	1	長崎県	北部
	13	2021/8/14 2:49	2	長崎県	南部、北部
	14	2021/8/14 5:00	2	佐賀県	南部、北部
	15	2021/8/14 5:59	3	長崎県	南部、北部
	16	2021/8/14 6:09	1	福岡県	福岡地方
9	17	2021/9/8 11:19	1	徳島県	南部

 …半日前に線状降水帯の発生の可能性を予測し、呼び掛けることが可能な事例

過去事例におけるシミュレーション（全国版）

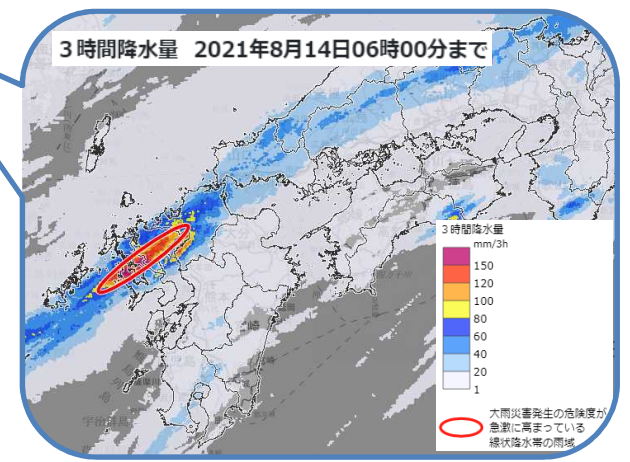
日付	時刻	内容
8月 11日	04:48	大雨に関する全般気象情報
	11:00	共同取材
12日	16:53	大雨と雷及び突風に関する全般気象情報
	05:05	大雨と雷及び突風に関する全般気象情報
	13:59	顕著な大雨に関する全般気象情報（福岡県、熊本県）
13日	17:07	大雨と雷及び突風に関する全般気象情報
	05:00	大雨と雷及び突風に関する全般気象情報
	08:45	大雨特別警報発表（広島県）
	08:48	記録的な大雨に関する全般気象情報
	09:19	顕著な大雨に関する全般気象情報（広島県）
	10:00	記者会見
14日	11:40	大雨と雷及び突風に関する全般気象情報
	13:00	大雨警報に切替（広島県）
	16:57	大雨と雷及び突風に関する全般気象情報
	02:15	大雨特別警報発表（佐賀県、長崎県）
	02:17	記録的な大雨に関する全般気象情報
	02:21	顕著な大雨に関する全般気象情報（佐賀県、長崎県）
	03:15	記者会見
15日	05:00	大雨と雷及び突風に関する全般気象情報
	05:50	大雨特別警報発表（福岡県）
	05:52	記録的な大雨に関する全般気象情報
	05:59	顕著な大雨に関する全般気象情報（佐賀県、長崎県）
	06:09	顕著な大雨に関する全般気象情報（福岡県、佐賀県、長崎県）
	06:50	記者会見
	12:41	大雨特別警報発表（広島県）
	12:43	記録的な大雨に関する全般気象情報
	13:40	記者会見
	16:50	大雨と雷及び突風に関する全般気象情報
16日	04:35	大雨と雷及び突風に関する全般気象情報
	06:00	記者会見
	06:10	大雨警報に切替
16日	16:25	大雨と雷及び突風に関する全般気象情報
	04:48	大雨と雷及び突風に関する全般気象情報
	11:00	共同取材
16:28	大雨と雷及び突風に関する全般気象情報	

（記者）線状降水帯が発生する可能性はあるか。
 ⇒（気象庁）線状降水帯を予測することは難しいが、前線付近では、いつそういう状況が発生してもおかしくない。
 今後可能性が高まった場合は気象情報で言及していく。

（見出し）
中国地方、四国地方、九州北部地方、九州南部では、
13日昼前にかけて線状降水帯が発生する可能性があり、
 大雨災害発生危険度が急激に高まるおそれがあります。
 （雨量予想）
 ○○地方 ○○ミリ…
 線状降水帯が発生した場合は、局所的にさらに雨量が増えるおそれがあります。

会見でも14日の線状降水帯予想にも言及

（見出し）
中国地方、四国地方、九州北部地方、九州南部では、
14日昼前にかけて（再び）線状降水帯が発生する可能性があり、
 大雨災害発生危険度が急激に高まるおそれがあります。
 （雨量予想）
 ○○地方 ○○ミリ…
 線状降水帯が発生した場合は、局所的にさらに雨量が増えるおそれがあります。



(参考) 全般・地方・府県気象情報とは

- 警報・注意報の発表に先立って警戒を呼びかけたり、特別警報・警報・注意報の発表中に現象の経過、予想、防災上の留意点などを解説したりするために発表する。
- 全国を対象とする「全般気象情報」、全国を11の地方に分けた「地方気象情報」、都道府県（北海道や沖縄県ではさらに細かい単位）を対象とした「府県気象情報」がある。

府県気象情報の例

大雨に関する広島県気象情報 第1号
平成30年7月4日16時20分 広島地方気象台発表

(見出し)

5日から7日頃にかけて、梅雨前線が日本付近に停滞し、活動が活発となる見込みです。このため、広島県では5日朝から局地的に雷を伴った激しい雨が降り、7日頃にかけて大雨となるおそれがあります。

(本文)

気象の見通しを記述

5日から7日頃にかけて、梅雨前線が日本付近に停滞し、この前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込むため、前線の活動が活発となる見込みです。

このため、広島県では5日朝から局地的に雷を伴った激しい雨が降り、7日頃にかけて大雨となるおそれがあります。土砂災害、浸水害、河川の増水に注意してください。

また、大気の状態が不安定となるため、落雷や突風にも注意が必要です。

<雨の予想>

5日に予想される1時間降水量は、多い所で

南部 40ミリ

北部 40ミリ

4日18時から5日18時までの24時間降水量は、多い所で

南部 100ミリ

北部 100ミリ

その後も降水量は増える見込みです。

予想される雨量等の最大値を記述

<防災事項>

土砂災害、浸水害、河川の増水、落雷、突風

警戒すべき
防災事項を記述